



けやきっ子

六栄小学校だより 第36号 令和8年1月22日(木) 文責:久保田 眞二



学校ホームページ
もご覧ください

「食」を自分自身の問題として考え、行動できるように

1月20日(火)の児童集会で、心づくり委員会の子どもたちが給食週間の取組について発表しました。給食は、明治22年に山形県鶴岡市で貧困に苦しむ子どもたちのために始まったと言われており、命と成長を支えてきた大切な取組です。

ところで、「食育」という言葉を耳にされたことはあるでしょうか。「食育」とは、食べ物への感謝の心や、バランスのよい食事、食事のマナーや食文化などを学び、健やかな食生活を身に付ける教育です。子どもたちが健康に過ごし、学ぶ力を育てるためにも欠かせません。学校では給食を中心に「食育」に取り組んでいますが、ぜひご家庭でも「食」の大切さについて、また、孤食、偏食、欠食などの「食」の問題などについても、子どもさんと話し合ってもらえれば幸いです。来週からは、心づくり委員会が中心となり、給食時の服装や残菜量の確認を通して、食について考える活動を行います。子どもたちが「食」を自分自身の問題として考え、行動できるよう、学校と家庭が力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



給食週間の取り組みについて発表する心づくり委員会の様子

土手がこんなにきれいに整備されました！感謝！

下の2枚の写真は、学校西側にある土手の様子です。左は2年前、右は最近撮影した同じ場所の写真です。見比べていただくと、土手が大変きれいに整備されていることがお分かりいただけると思います。

この整備は、立野区の上野区長様を中心に、約1年もの時間をかけて取り組んでいただいたものです。本校の学校環境がこのように整えられたことに、心より感謝申し上げます。また、長い期間、コツコツと粘り強く取り組まれる姿は、子どもたちにとっても大変貴重なお手本となりました。保護者や地域の皆様にもぜひ知っていただきたく、ここに紹介させていただきました。本当にありがとうございました。



約2年前の土手の様子



現在の土手の様子

子どもたちの大切な命を守るために

1月19日(月)午後4時頃、福岡県朝倉市において、小学生が乗った自転車2台が普通貨物自動車にはねられ、尊い命が失われるという大変痛ましい事故がありました。このニュースに接し、まず思い浮かんだのは本校の子どもたちの姿です。このような事故は決して起きてはなりません。しかし、本校校区は交通量が多く、放課後の子どもたちの様子を見てみると、日頃から不安を感じています。特にこの時期は夕方の暗くなる時間が早く、事故の危険性が高まります。

学校でも引き続き交通安全指導に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、交通ルールを守ることや正しい自転車の乗り方について、繰り返しお子さまにご指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。子どもたちの大切な命を守るため、学校と家庭が連携して取り組んでいければと考えております。

毎月17日は
「ながす町交通安全
全の日」です。



自分の命は自分
で守る！